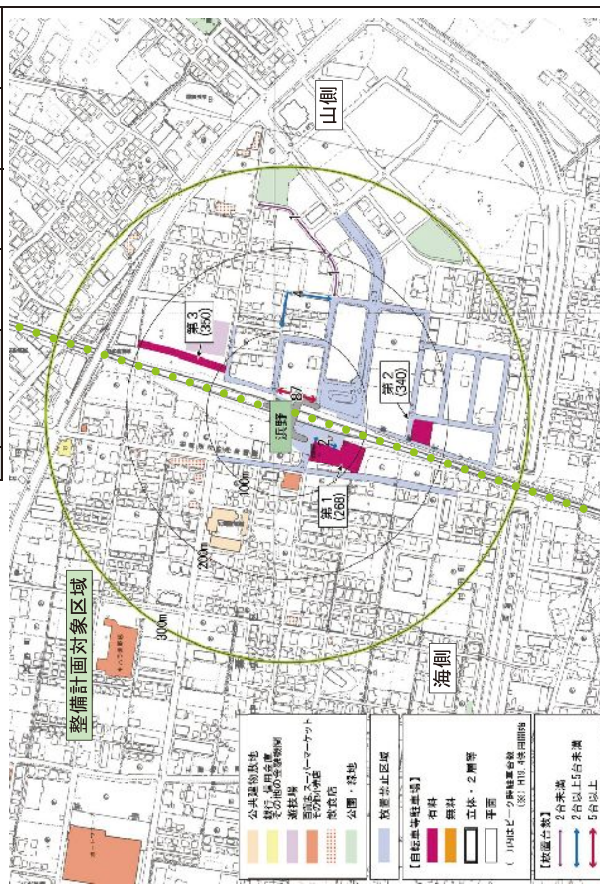


JR内房線
浜野駅
【現況】

浜野駅は、1日平均乗車人員は約5,400人、自転車等の乗入台数は約1,100台である。
駐輪場は海側に1箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は3,700台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日	平成18年10月30日	駐車	放置	駐車	放置
計	1,053	958	95	1,053	3,700
自転車	1,020	927	93	93	3,520
原付	33	31	2	33	180



海側	乗入台数		山側		乗入台数		収容台数	
	駐車	放置	駐車	放置	駐車	放置	駐車	放置
計	270	268	783	690	93	1,500	2,200	2,130
自転車	261	259	759	668	91	1,390	2,130	2,130
原付	9	9	24	22	2	110	70	70

参考データ	駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	5,443人/日	交通分担率	徒歩	自転車等	バス	タクシー	その他
				JR	65.4%	28.3%	1.5%	0.0%	4.8%

(H18千葉県統計書)
(H10 東京都市圏パーソントップ調査)

【需要推計】

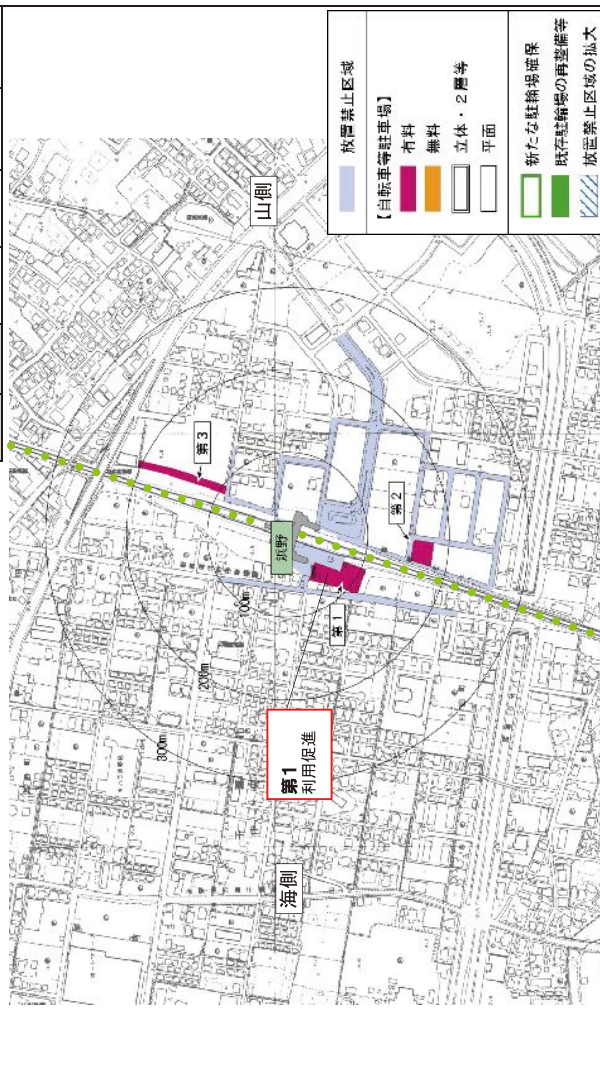
浜野駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は1,098台と推計しており、現在、収容台数を3,700台を確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体		海側		山側		原付	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.04	1.06	1.02	1.10	1.05	1.04	1.05	1.04

【整備計画】

収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計	自転車	原付	計	自転車	原付	計	自転車	原付	計	自転車	原付
1,053	1,020	33	1,053	1,020	33	1.04	1,098	1,063	35	3,700	3,520
1,053	1,020	33	1,053	1,020	33	1.06	1,098	1,063	35	180	180



海側	乗入台数		山側		乗入台数		収容台数	
	駐車	放置	駐車	放置	駐車	放置	駐車	放置
計	270	261	783	690	93	1,500	2,200	2,130
自転車	261	259	759	668	91	1,390	2,130	2,130
原付	9	9	24	22	2	110	70	70

駅口	整備手法		台数		整備時期		主体	
	現況(原付)	整備(原付)	現況(原付)	整備(原付)	時期	用地	整備	運送
海側	270 (既設)	0	2,200 (70)	0 (0)	一	市	市	市
山側	261 (既設)	0	600 (50)	600 (50)	二	市	市	市
計	531 (既設)	0	2,800 (120)	1,200 (110)	一	JR	JR	JR

※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モノレール 民:個人または民間事業者
※整備時期欄 前期:H20~22 中期:H23~25 後期:H26~27

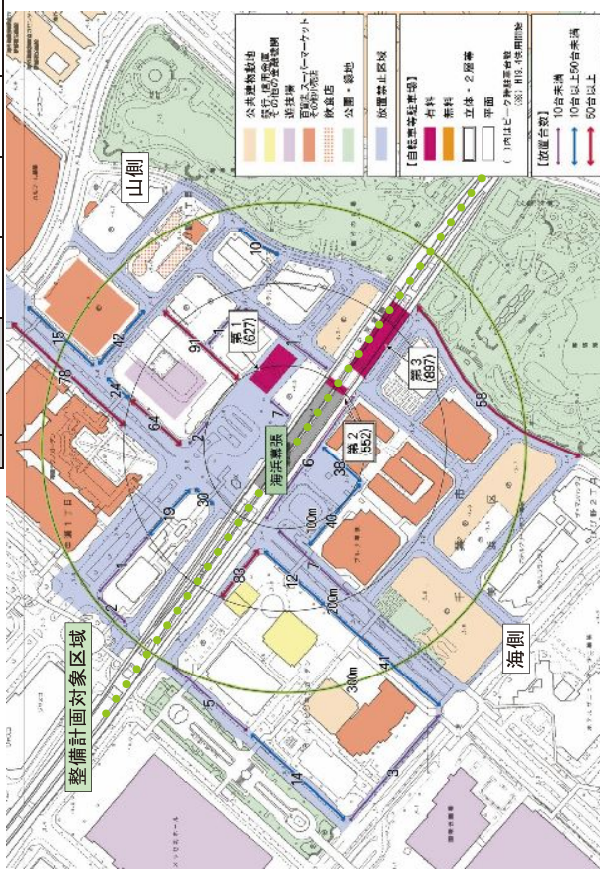
JR京葉線
海浜幕張駅

【現況】

海浜幕張駅は、1日平均乗車人員は約4万8千人、自転車等の乗入台数は約2,700台である。
駐輪場は3箇所設置しており、収容台数は2,930台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日:平成18年10月30日		計	2,733	2,076	2,930
		自転車	2,655	2,025	2,840
		原付	78	51	27
		計	2,733	2,076	2,930
		自転車	2,655	2,025	2,840
		原付	78	51	27

図はピーク時の台数を示している。



海側		山側		全体	
乗入台数	1,458	1,275	2,733	2,076	2,930
計	1,458	1,275	2,733	2,076	2,930
自転車	1,432	1,223	2,655	2,025	2,840
原付	26	52	78	51	27

参考データ		交通分担率		その他	
駅利用	1日平均乗車人員(H17)	JR	89.2%	バス	5.6%
状況	48,813人/日			タクシー	0.4%
	(H18千葉市統計書)			その他	1.4%

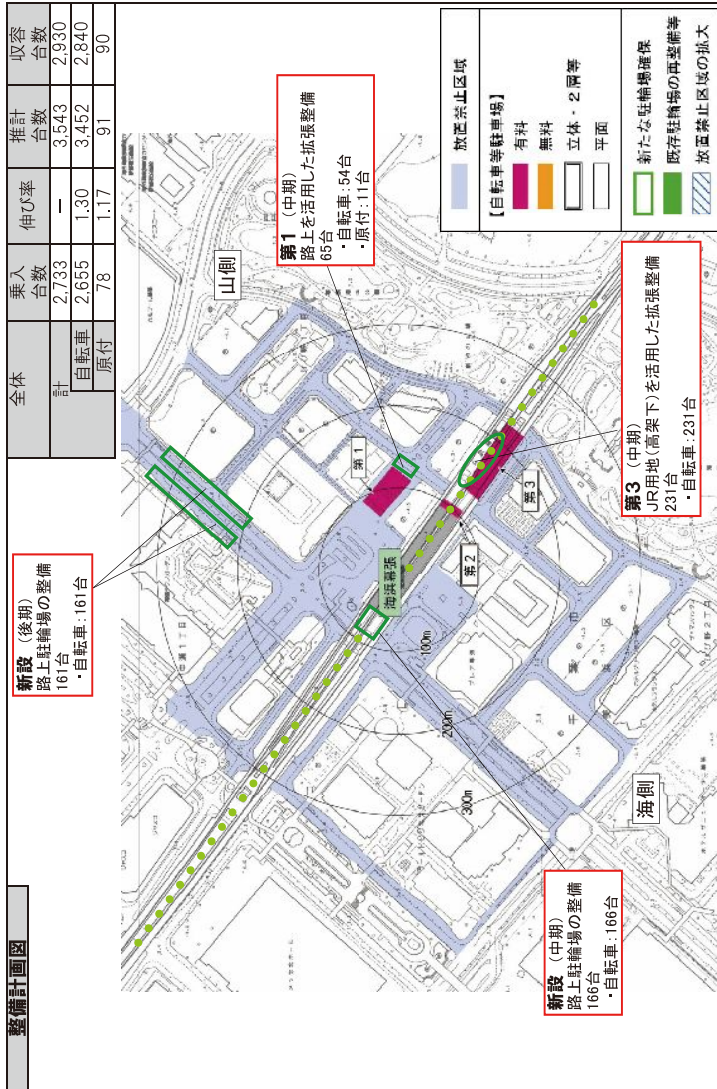
【需要推計】

海浜幕張駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は3,543台と推計しており、海側・山側ともに収容台数の不足を見込んでいる。

計画期間(H27)の伸び率		海側		山側		全体	
乗入台数	1.30	原付	1.17	原付	1.17	原付	1.17
自転車	1.30	原付	1.17	原付	1.17	原付	1.17

【整備計画】

海側では、自転車の収容台数の不足が見込まれることから、JRの用地(高架下)を活用した第3駐輪場の拡張整備や路上駐輪場の新設に対応する。
山側では、収容台数の不足が見込まれることから、第1駐輪場の拡張整備や路上駐輪場の新設により対応する。



海側		山側		全体	
乗入台数	1,458	1,275	2,733	2,076	2,930
計	1,458	1,275	2,733	2,076	2,930
自転車	1,432	1,223	2,655	2,025	2,840
原付	26	52	78	51	27

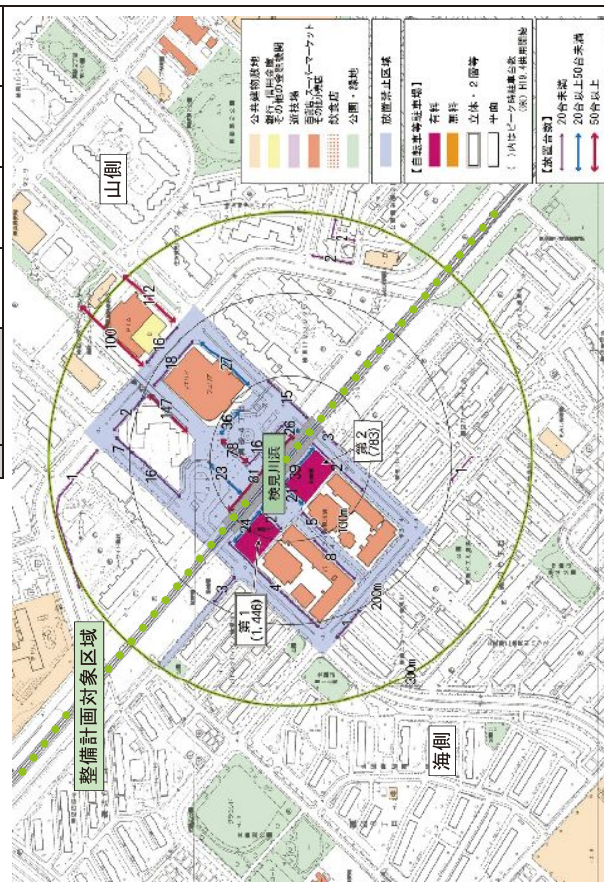
整備内容		整備手法		駅計	
海側	不足台数	現状(原付)	整備(原付)	計(原付)	主体
山側	不足台数	325(0)	325(0)	325(0)	整備
計	不足台数	1,100(50)	1,100(50)	1,100(50)	運賃
海側	収容台数	1,458	1,892	1,458	市
山側	収容台数	1,275	1,505	1,275	市
計	収容台数	2,733	3,397	2,733	市
海側	伸び率	1.29	1.29	1.29	市
山側	伸び率	1.17	1.17	1.17	市
計	伸び率	1.17	1.17	1.17	市
海側	乗入台数	1,458	1,892	1,458	市
山側	乗入台数	1,275	1,505	1,275	市
計	乗入台数	2,733	3,397	2,733	市
海側	計	1,458	1,892	1,458	市
山側	計	1,275	1,505	1,275	市
計	計	2,733	3,397	2,733	市
海側	原付	26	30	26	市
山側	原付	52	40	52	市
計	原付	78	70	78	市
海側	自転車	1,432	1,465	1,432	市
山側	自転車	1,223	1,465	1,223	市
計	自転車	2,655	2,930	2,655	市
海側	原付	26	40	26	市
山側	原付	52	40	52	市
計	原付	78	80	78	市

※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本、京成:京成電鉄、モ/:千葉県市モレール、民:個人または民間事業者
※整備時期欄 前期:H20~22 中期:H23~25 後期:H26~27

JR京葉線
検見川浜駅
【現況】

検見川浜駅は、1日平均乗車人員は約11万6千人、自転車等の乗入台数は約3,100台である。
駐輪場は海側に2箇所設置しており、収容台数は4,710台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日：平成18年10月30日	図はピーク時の台数を示している。	計	3,089	計	4,710
		自転車	2,251	放置	838
		自転車	2,961	自転車	4,550
		原付	128	原付	160



海側		山側		全体	
乗入台数	2,364	乗入台数	725	乗入台数	3,089
計	2,251	計	725	計	2,972
自転車	2,252	自転車	709	自転車	2,961
原付	112	原付	16	原付	128

1日平均乗車人員(H17)		バス タクシー		その他	
駅利用状況	16,482人/日	JR	70.9%	交通分担率	5.5%
	(H18千葉市統計書)		(H10 東京都市圏バージョンアップ調査)		1.8%

【需要推計】

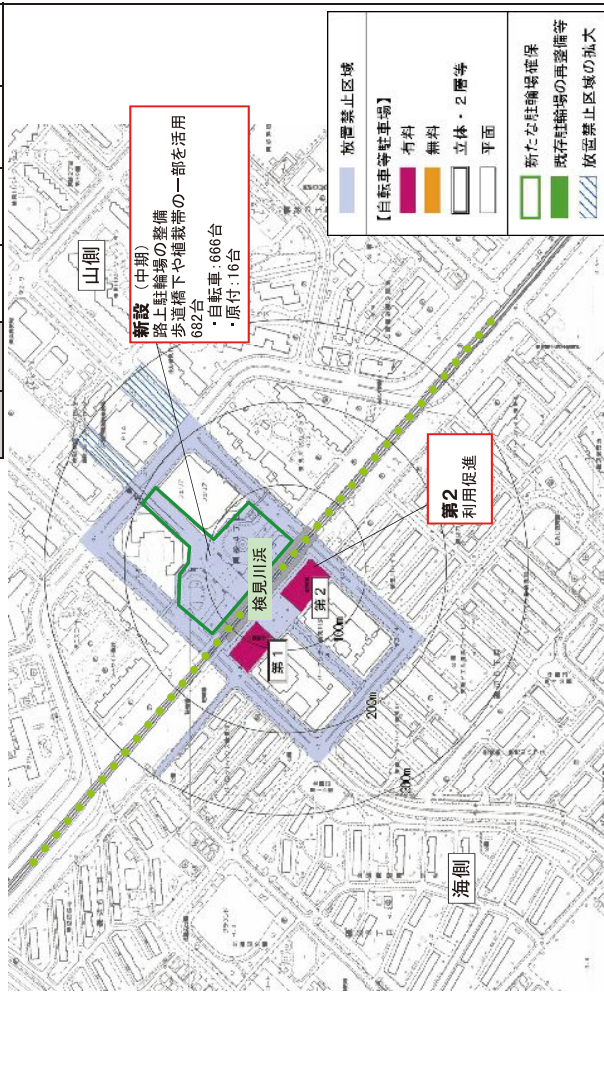
検見川浜駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は2,912台と推計しており、駅全体としては収容台数の不足は見込んでいないが、山側への乗り入れに対応した駐輪場がない。

計画期間(H27)の伸び率		海側		山側		原付	
全体	0.94	全体	0.94	全体	0.94	全体	1.01
自転車	1.01	自転車	1.01	自転車	0.94	自転車	1.01
原付	1.01	原付	1.01	原付	0.94	原付	1.01

【整備計画】

海側では、収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
山側では、自転車の収容台数の不足が見込まれることから、路上駐輪場を新設して対応する。
なお、山側では、駐輪場の整備時期にあわせて放置禁止区域を拡大する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
		計	3,089	計	2,912	計	2,912	計	4,710	計	4,710
		自転車	2,961	自転車	2,783	自転車	2,783	自転車	4,550	自転車	4,550
		原付	128	原付	129	原付	129	原付	160	原付	160



海側		山側		全体	
乗入台数	2,364	乗入台数	725	乗入台数	3,089
計	2,230	計	682	計	2,912
自転車	2,252	自転車	666	自転車	2,783
原付	112	原付	16	原付	129

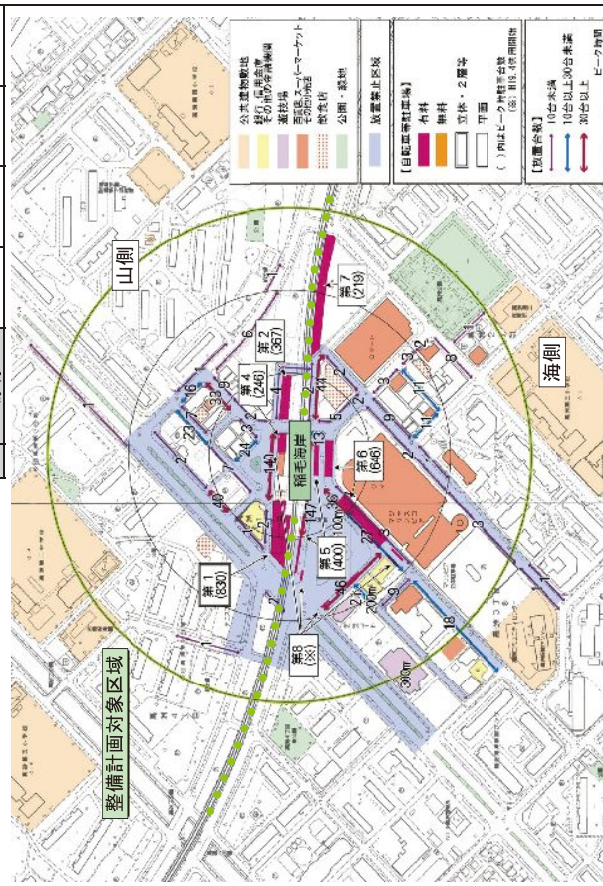
整備手法		整備(原付)		計(原付)		主体	
現況(原付)	2,930 (80)	整備(原付)	2,930 (80)	計(原付)	2,930 (80)	用地	市
第1(既設)	1,780 (80)	第1(既設)	1,780 (80)	第1(既設)	1,780 (80)	市	市
第2(既設)	4,710 (160)	第2(既設)	4,710 (160)	第2(既設)	4,710 (160)	市	市
新設	0 (0)	新設	682 (16)	新設	682 (16)	市	市
計	4,710 (160)	計	682 (16)	計	682 (16)	市	市
駅計	4,710 (160)	駅計	682 (16)	駅計	682 (16)	市	市
駅計	5,392 (176)	駅計	682 (16)	駅計	5,392 (176)	市	市

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モテール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

JR京葉線
稲毛海岸駅
【現状】

稲毛海岸駅は、1日平均乗車人員は約2万3千人、自転車等の乗入台数は約3,600台である。
駐輪場は海側に4箇所、山側に3箇所設置しており、収容台数は5,030台となっている。

駐車台数・放置台数	全体		ピーク時乗入台数		収容台数
	計	自転車	放置	台数	
測定日：平成18年10月30日	計	3,591	2,830	761	5,030
図はピーク時の台数を示している。	自転車	3,494	2,752	742	4,740
	原付	97	78	19	290



海側	乗入台数		収容台数		山側		乗入台数		収容台数	
	計	自転車	放置	台数	計	自転車	放置	台数	計	自転車
計	1,823	1,387	436	2,870	1,768	1,443	325	2,160		
自転車	1,810	1,376	434	2,750	1,684	1,376	308	1,990		
原付	13	11	2	120	84	67	17	170		

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	22,884人/日
JR	交通分担率	62.9%
	徒歩	30.1%
	自転車等	4.9%
	バス	2.1%
	タクシー	0.5%
	その他	1.6%

(H18千葉市統計書)

【需要推計】

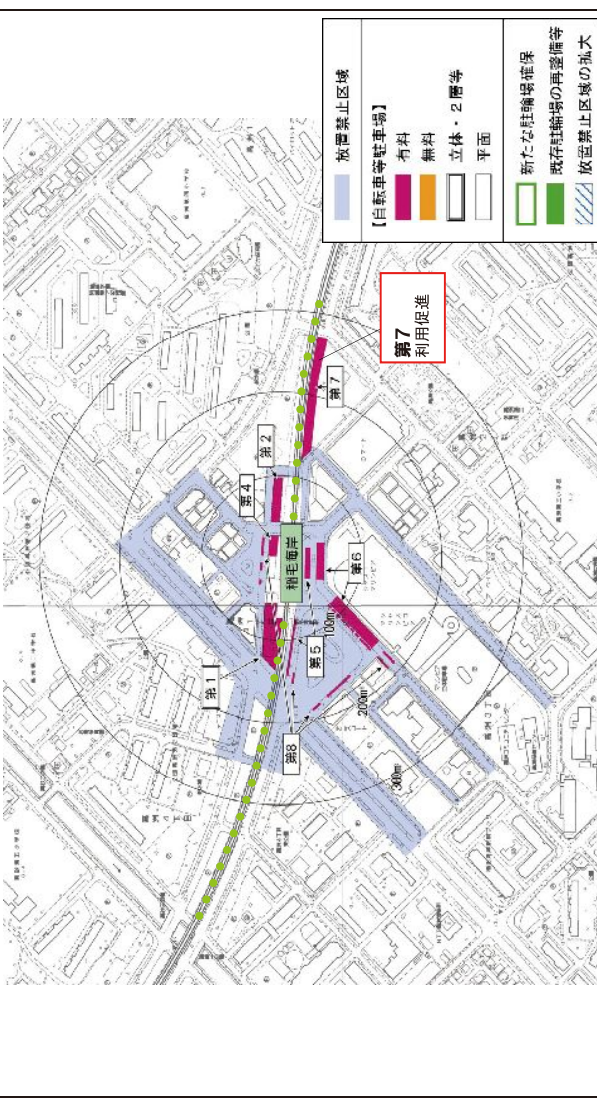
稲毛海岸駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は3,489台と推計しており、現在、収容台数を5,030台確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体		海側		山側		原付
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	
	0.97	0.90	0.94	0.91	1.01	0.89	

【整備計画】

収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

整備計画図	全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数
	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	
	計	3,591	3,591	3,591	—	—	3,489	5,030	
	自転車	3,494	3,494	3,494	0.97	0.97	3,402	4,740	
	原付	97	97	97	0.90	0.90	87	290	



海側	乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数		不足台数
	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	
計	1,823	1,810	—	—	1,776	1,768	2,160	—	
自転車	1,810	1,701	0.94	0.94	1,701	1,684	1,990	—	
原付	13	12	0.91	0.91	12	84	170	—	

◆整備内容

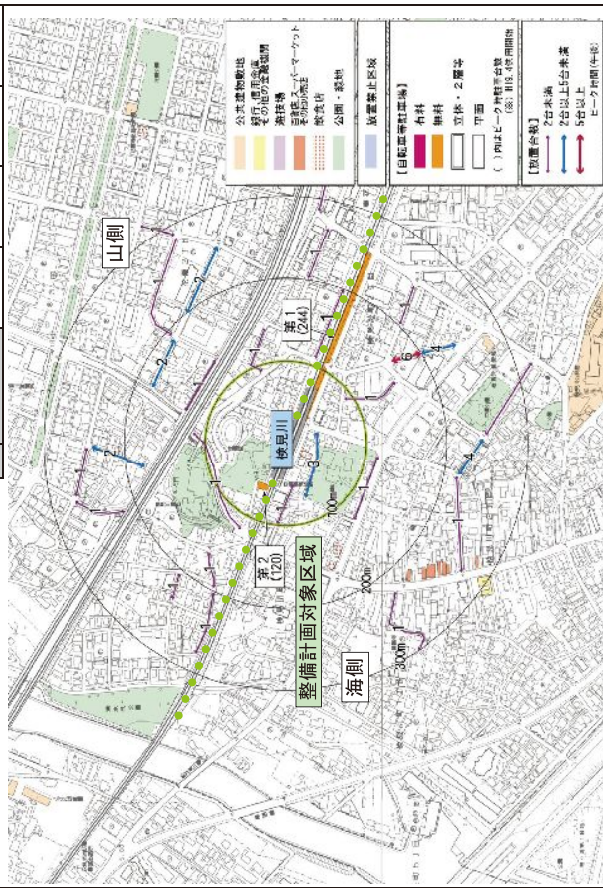
駅	駐輪場		整備手法		台数		整備時期		主体
	現況(原付)	整備(原付)	現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	計(原付)	時期	用地	
海側	第5 (既設)	420	(20)	420	(20)	420	—	市	市
	第6 (既設)	650	(0)	650	(0)	650	—	市	市
	第7 (既設)	300	(0)	300	(0)	300	—	市	市
	第8 (既設)	500	(0)	500	(0)	500	—	市	市
山側	計	1,870	(120)	1,870	(120)	1,870	—	市	市
	第1 (既設)	1,300	(110)	1,300	(110)	1,300	—	市	市
	第2 (既設)	600	(50)	600	(50)	600	—	市	市
	第4 (既設)	260	(10)	260	(10)	260	—	市	市
計	2,160	(170)	0	0	2,160	(170)	—	市	市
駅計	5,030	(290)	0	0	5,030	(290)	—	市	市

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モテール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

京成電鉄千葉線
検見川駅
【現状】

検見川駅は、1日平均乗車人員は約1,700人、自転車等の乗入台数は388台である。
また、駐輪場は海側に1箇所、山側に1箇所設置しており、収容台数は630台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日：平成18年10月30日		計	368	364	4
図はピーク時の台数を示している。		自転車	335	333	2
		原付	33	31	2
		計	630		630
		自転車	558		558
		原付	72		72



海側	山側	乗入台数		収容台数	
		自転車	原付	自転車	原付
計	計	248	120	570	60
自転車	自転車	215	120	498	60
原付	原付	33	0	72	0

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	バス	タクシー	その他
京成	1,705人/日	49.2%	15.1%	6.4%

(H18千葉市統計書)

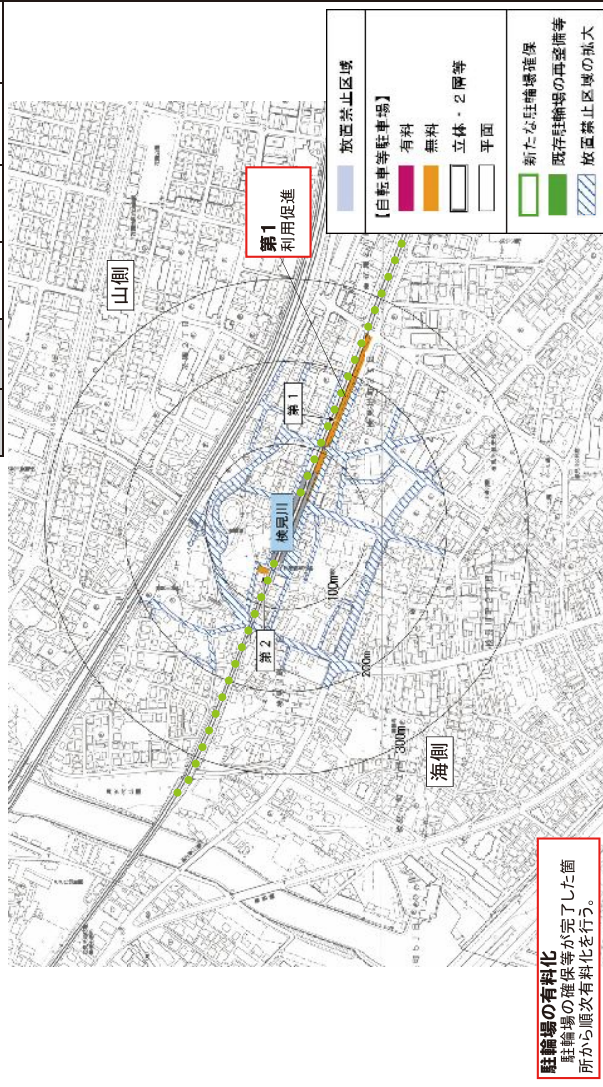
【需要推計】
検見川駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は397台と推計しており、駅全体としては充足しているが、山側では収容台数の不足が見込んでいる。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付
	1.08	1.06	1.06

【整備計画】

海側では、収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
山側では、自転車の収容台数の不足が見込まれるが、駐輪場の整備は行わず、自転車等の利用者を第1駐輪場に誘導して対応する。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
		計	368	計	397	計	368	計	397	計	630
		自転車	335	自転車	362	自転車	335	自転車	362	自転車	558
		原付	33	原付	35	原付	33	原付	35	原付	72



海側	山側	乗入台数		収容台数		伸び率		推計台数		不足台数	
		自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
計	計	248	120	570	60	1.08	1.05	130	60	70	
自転車	自転車	215	120	498	60	1.08	1.05	130	60	70	
原付	原付	33	0	72	0	1.05	1.05	0	0	0	

駅	駐輪場	整備手法		台数		整備時期		主体	
		現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	計(原付)	用地	運営		
海側	第1	570	(72)	570	(72)	—	市	市	市
山側	第2	60	(0)	60	(0)	—	民	民	民
計	計	630	(72)	630	(72)	—	—	—	—

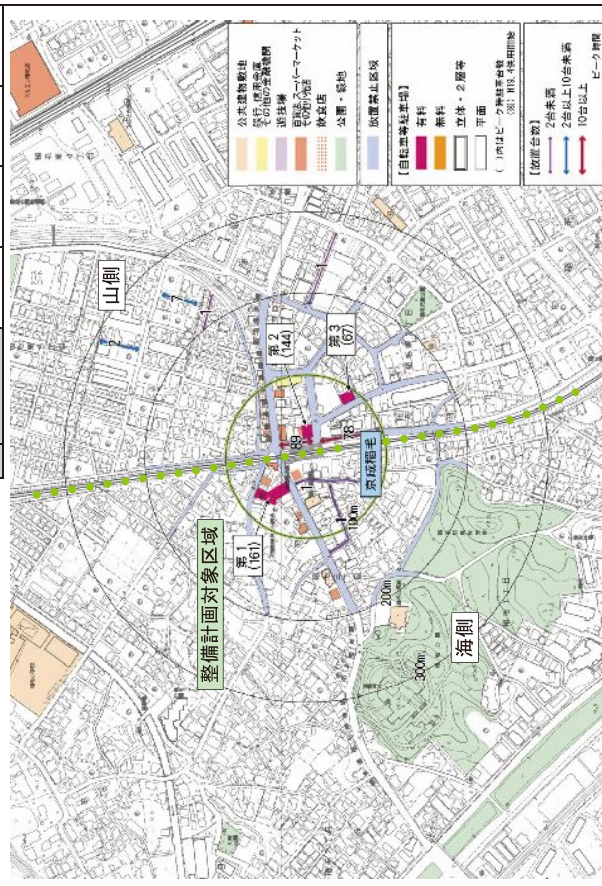
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

京成電鉄千葉線
京成稲毛駅

【現状】

京成稲毛駅は、1日平均乗車人員は約3,000人、自転車等の乗入台数は650台である。駐輪場は海側に1箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は719台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日	平成18年10月30日	駐車	放置	駐車	放置
計		650	481	169	719
自転車		616	460	156	669
原付		34	21	13	50



海側		山側		全体	
乗入台数	放置台数	乗入台数	放置台数	乗入台数	放置台数
計	163	487	320	650	481
自転車	157	459	304	616	460
原付	6	28	16	34	21

◆参考データ		交通分担率		その他	
駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	京成	バス	タクシー	その他
京成	3,021人/日	52.9%	32.3%	13.1%	0.0%

(H18千葉市統計書) (H10 東京都圏内パーソントリップ調査)

【需要推計】

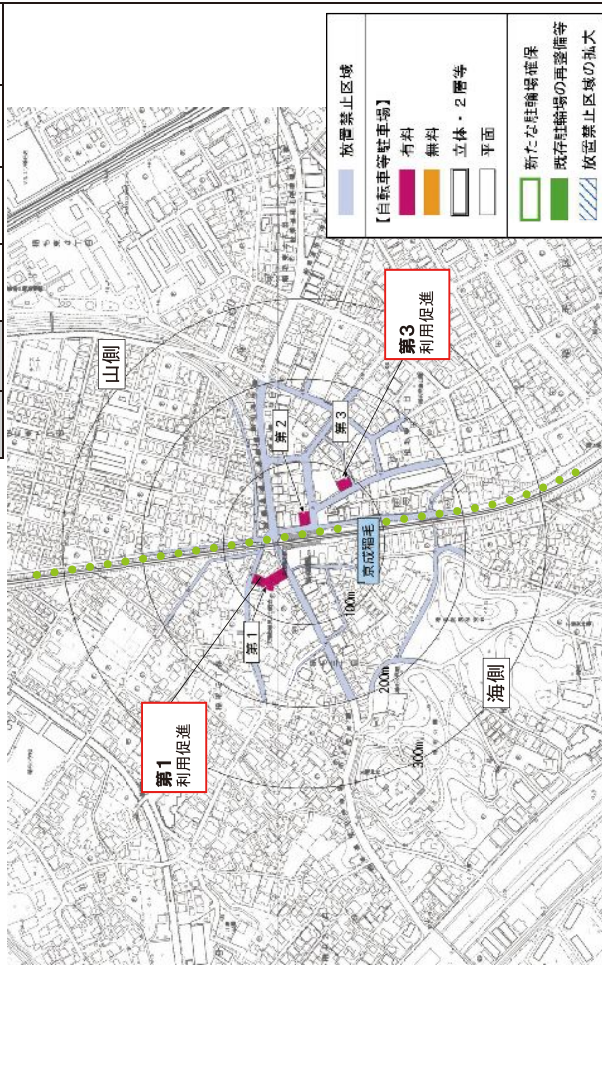
京成稲毛駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は692台と推計しており、山側で自転車の収容台数の不足を見込んでいるものの、全体では現在の収容台数で充足している。

計画期間(H27)の伸び率		全体		自転車		原付	
乗入台数	伸び率	乗入台数	伸び率	乗入台数	伸び率	乗入台数	伸び率
692	1.07	616	1.07	460	0.97	34	0.97

【整備計画】

海側では、収容台数の不足を見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。山側では、収容台数が不足しているが、自転車等の利用者を第1駐輪場に誘導して対応する。また、自転車等の放置の実態を踏まえて放置禁止区域を拡大する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
測定日	平成18年10月30日	計	原付	計	原付	計	原付	計	原付	計	原付
計		650	616	650	616	—	1.07	692	659	692	669
自転車		616	616	616	616	—	1.07	659	659	669	669
原付		34	34	34	34	0.97	33	33	33	50	50



海側		山側		全体	
乗入台数	放置台数	乗入台数	放置台数	乗入台数	放置台数
計	163	487	320	650	481
自転車	157	459	304	616	460
原付	6	28	16	34	21

◆整備内容		整備手法		主体	
駅	駐輪場	整備(原付)	計(原付)	用地	整備
海側	第1	460 (50)	460 (50)	市	市
山側	第2	110 (0)	110 (0)	市	市
	第3	49 (0)	49 (0)	民	民
計		719 (50)	719 (50)		

※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モテール 民:個人または民間事業者
※整備時期欄 前期:H20~22 中期:H23~25 後期:H26~27